

概要報告

実施期日	8月3日(木)
部会名	中学校 国語部会

神奈川県研究主題

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

テーマ

『「読むこと」における成長の為の指導と工夫
書き換え活動を通して生徒が変容を感じ取る』

提案概要

【具体的な提案内容】

単元(題材) 描写をもとに心情を捉える力をつけよう『少年の日の思い出』

学年 第1学年

国語科の目標及び内容 [第1学年]

[知識及び技能]

「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」

ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

[思考力, 判断力, 表現力]

「C読むこと」

イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。

①実践に向けての課題意識と実践した手立て

提案者の勤務校の1年生を対象にアンケート調査を行なったところ「文学的文章に対してどのような印象を持っていますか」という問いに対して「読み取りが難しい」「周りとの答えがあっているか不安」「考えたことを言葉にして表現することが苦手」など、文章の読み取りや表現することに苦手意識を持っている生徒が多かった。これらの課題は生徒が「主体的に読むこと」で解決できると考え、その手立てとして「読むこと」のための書き換え活動を取り入れた。

②文学的文章の学習の系統性を意識した年間の取り組み

- | | | |
|-----|--|---------------------|
| 4月 | 単元「語り手を意識しよう」 | 題材「シンシュン」 |
| 7月 | 単元「表現技法とその効果を体感しよう」 | 題材「詩の世界」 |
| 9月 | 単元「描写に着目して心情を読み取ろう」 | 題材「大人になれなかった弟たちに……」 |
| 10月 | 文学的文章アンケートを実施(文学的文章の学習に対する印象や感想)
*アンケート結果から授業改善 | |
| 11月 | 単元「みんなで読みを共有しよう」 | 題材「星の花が降るころに」 |
| 2月 | 単元「描写をもとに心情を捉える力をつけよう」 | 題材「少年の日の思い出」 |

【実践した単元の実際】

「少年の日の思い出」の授業以前の文学的文章の単元での学びが活かされ、文章を読み取る際に意欲的に取り組む姿が見られた。また、書き換え活動は文字の読み書きが苦手な生徒がいる実態を踏まえ、アプリを使用し、原稿用紙のテンプレートで作成を行った。そして、タブレットの機能を活用し、同じ題材でも一人ひとり使っている言葉や表現が違うため、「なぜその言葉を使ったの?」、「この表現いいね!」といった作品を積極的に読み合う姿が見られた。

【成果と課題】

成果は、単元後のアンケート結果から、これらの取り組みや本単元の授業を行ったことで生徒が「主体的に読むこと」が実現できたと考える。一学期の始めに書き換え活動を行い、三学期の最後に再度書き換え活動を行なうことで、今までの学習を生かすことができ、生徒自身が成長を感じていた。

課題は、学年が上がると文章量や表現のレベルも上がっていく。その中で2,3年生でも同様に活動することが効果的とは言い切れないので、学年に応じた指導が必要だと考える。また、今回の実践を終えても、読み取りが苦手な生徒もいた。今後は、理解の深まりのために、漫画や絵本など内容を視覚的に捉えさせることも有効ではないかと考える。

質疑応答

(協議の時間を確保したため、質疑はなし。)

協議の柱及び協議概要

【協議の柱 (小中合同協議) 読むことにおいて、子どもが成長を感じられる指導・評価の工夫】

- ・評価のものさしを子供に与える。
- ・苦手な子はみんなの意見を聞いてカバーする構造。
- ・過去の学年の教材に取り組む。
- ・単元のめあてやできるようになってほしい姿を子供と共有。
- ・振り返ることを大切にする。
- ・どの子もかけるような発問の工夫。
- ・昨年度の授業で身につけたことを活用して新しい活動に取り組む。
- ・個人→グループ→個人という学習の進め方。
- ・ワークシートの工夫 (学習前の自分と学習後の自分の比較)
- ・褒め合う。
- ・各学年のつながりをおさえる。
- ・劇 (内容理解を伴う)。
- ・振り返りや成果物をやりっぱなしにせず、見返す機会を意図して設ける。
- ・発問の工夫。
- ・共有の仕方を工夫する。(ペアの相手を変える、サインをもらってくる、匿名にする)
- ・表現することの楽しさを知る。(書き換え活動、書き出しなど)
- ・同様の言語活動を別の月に行うことで、生徒も変化を実感できる。
- ・振り返りを書いて、自分の変容(成長)が可視化される。
- ・教師が自ら例を提示する。
- ・スモールステップ。
- ・既習事項を確認できる表があると良い。

まとめ概要

本提案は、読むことをテーマとして授業を実践したものである。

国語の読む能力は最終的にアウトプットを行うことになる。具体的には、文章にまとめる、記録する、報告するといった言語活動例が指導要領の解説にも示されている。そうした中、本実践で行われた「書き換え」は有効な言語活動であったと考える。

本提案では、生徒が4月段階からの学習を想起して取り組むことができたと感じる。「前の学習が、ここで活かされている」ということが生徒自身実感できていたと思う。

授業実践の中で「書き換え」を行うことで、タブレットとワークシート、教科書を生徒が行き来する姿や、先生に前向きに質問に来る姿が見られた。そうした姿から、本実践が、生徒が主体的に読むことを実現するものであったと感じた。